

2010年度立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻入学試験問題（9月実施）

社会学基礎

＜受験上の注意事項＞

1. 答案用紙の記入の仕方

研究科名	専攻名	課程	受験科目名	受験番号	氏名
社会学研究科	応用社会学専攻	前期課程	社会学基礎	自分の受験番号	自分の氏名

2. 解答方法

解答は答案用紙に記入すること。

3. 持ち込み許可物件

持ち込み許可物件はなし。

4. その他

問題用紙・メモ用紙も提出すること。

— 社会学基礎 —（横書き）

以下の設問に答えなさい。

設問1

次の3つの問題から1つを選んで解答しなさい。（1,000字以内）

- (1) E・デュルケムは、社会学が社会科学の一部門として存立するための条件として、独自の研究対象と研究方法を持たねばならないと考えていた。では、彼はどのような研究対象と研究方法を提唱したか、説明しなさい。
- (2) M・ウェーバーは、近代資本主義社会における官僚制的合理化の果てにどのような人間的・社会的問題を見据えていたか、述べなさい。
- (3) 家族形態の分類の仕方にはどのようなものがあるか説明するとともに、近年の日本の家族形態の変化について説明しなさい。なお解答ではマードックについてかみならず言及すること。

設問2

次の用語から5つ選んで、解説しなさい。（各200字以内）

- (1) 文化遅滞説
- (2) 準拠集団
- (3) アーバニズム
- (4) 社会的移動
- (5) 公衆
- (6) 個人化
- (7) 同一性拡散
- (8) 方法論的個人主義
- (9) 知識社会学
- (10) 社会ダーウィン主義

以上